

定住自立圏構想

# 中心市宣言書



平成 22 年 3 月 26 日

島 根 県 益 田 市

## 中心市宣言

益田市は、北は日本海に臨み、南は美しい渓谷が続く西中国山地国定公園に至る島根県西端の中核都市です。広島県、山口県と境界を接し、古くから山陰と山陽を結ぶ交通の要衝地として栄えた本市は、柿本人麻呂・雪舟に代表される中世の歴史や全国でも有数の水質を誇る清流高津川など貴重な地域資源を有しています。

また、この清流高津川で結ばれる津和野町と吉賀町とは、古くから「ひと・もの」の往来が盛んであり、今日も医療・防災・行政・経済・教育・文化などの各面において密接に繋がる圏域を形成しています。

現在、わが国は、少子高齢化の急速な進展によって皆人口減少社会にあるといわれ、こうした人口の減少期にあっても地域の社会活力を保ち、都市機能を維持することが全国的に共通した課題となっています。

本市においても、昭和62年頃以降は人口の減少傾向が続き、若年層の都市圏への流出による担い手世代の不足や高齢化による生産人口の減少は都市の活力を失わせる要因となっています。特に本市域の大部分を占める中山間地域においては、集落人口の減少によって小規模・高齢化が急速に進み、地域の互助機能や生活に必要な機能を維持することが困難になりつつあります。

こうした中においては、国が掲げる定住自立圏構想のもと、住民生活において密接な関係を有する自治体が互いに連携・協力して定住環境の整備や社会生活における条件が不利な地域の振興を図り、自立した生活圏の構築に取り組むことが求められます。

本市は、津和野町、吉賀町とともに定住自立圏の形成を目指し、圏域全体の暮らしに必要な都市機能の整備、充実を図り、自信と誇りを持ち、安心して暮らし続けられる地域社会の形成に向けて中心的な役割を果たすことを、ここに宣言します。

平成 22 年 3 月 26 日

益田市長 福原 慎太郎

## 1. 都市機能の集積状況及び利用状況

### (1) 医療・福祉・健康

#### ◆ 医療施設数

	病院	一般診療所	歯科診療所
益田市	3	59	26
益田市・鹿足郡2町	6	71	33

※ H18 医療施設調査

#### ◆ 医療施設従事者数

	医師	歯科医師	薬剤師
益田市	122	33	86
益田市・鹿足郡2町	147	40	111

※ H18 医師・歯科医師・薬剤師調査

#### ◆ 救急告示医療施設

施設名	診療科目	認可病床数	救急受入件数	摘要
益田赤十字病院	15 科目	327 床	8,451 件/年	【災害拠点病院】
益田地域医療センター医師会病院	8 科目	343 床	1,852 件/年	

※ H20 島根県・当該施設資料

#### ◆ 益田赤十字病院 地域別患者構成

	外来患者数		入院患者数	
	人数	割合	人数	割合
益田市	11,780 人	66.5 %	2,887 人	63.5 %
津和野町	1,378 人	7.8 %	449 人	9.9 %
吉賀町	953 人	5.4 %	260 人	5.7 %
その他の地域	3,596 人	20.3 %	952 人	20.9 %
合計	17,707 人	100.0 %	4,548 人	100.0 %

※ H20 益田赤十字病院資料

#### ◆ 益田地域医療センター医師会 地域別患者構成

	外来患者数		入院患者数	
	人数	割合	人数	割合
益田市	6,482 人	79.7 %	1,541 人	75.7 %
津和野町	466 人	5.7 %	138 人	6.8 %
吉賀町	208 人	2.6 %	42 人	2.1 %
その他の地域	974 人	12.0 %	314 人	15.4 %
合計	8,130 人	100.0 %	2,035 人	100.0 %

※ H20 益田市医師会病院資料

### (2) 教育・文化

#### ◆ 文化施設年間会員の状況（島根県立芸術文化センター・グラントワ）

施設名	会員総数	益田市	津和野町・吉賀町	その他の地域
島根県芸術文化センター	960	849	34	77
いわみ芸術劇場ホール	2,075	1,461	202	412
石見美術館ミュージアム	1,487	1,237	64	186

※ H21 グラントワ資料

### (3) 産業

#### ◆ 工業集積の状況

	事業所数	従業者数	製造品出荷額等
益田市	90	2,448 人	3,882,998 万円
益田市・鹿足郡2町	130	3,359 人	5,878,679 万円

※ H19 工業統計調査

#### ◆ 卸売業・小売業の状況

	事業所数	従業者数	製造品出荷額等	売場面積合計
益田市	800	4,602 人	8,564,646 万円	86,395 ㎡
益田市・鹿足郡2町	1,110	5,710 人	9,929,193 万円	106,282 ㎡

※ H19 商業統計調査

#### ◆ 大規模小売店舗の状況

	事業所数	従業員数	年間商品販売額	売場面積合計
益田市	22	580 人	1,080,960 万円	31,576 ㎡
益田市・鹿足郡2町	24	618 人	1,155,364 万円	32,920 ㎡

※ H19 商業統計調査

#### ◆ 購買動向の状況（益田市市内商業施設での購買率）

	全体	食料品	衣料・身回品	日用雑貨品
益田市	86.1 %	92.9 %	66.8 %	86.9 %
津和野町（旧津和野町）	21.8 %	11.2 %	43.6 %	30.1 %
〃（旧日原町）	48.1 %	36.0 %	65.6 %	54.4 %
吉賀町（旧柿木村）	36.5 %	22.8 %	61.2 %	42.1 %
〃（旧六日市町）	16.9 %	7.3 %	38.8 %	22.0 %

※ H16 島根県商勢圏実態調査

### (4) 運輸・交通

#### ◆ 中心市街地を起点・経由しているバス系統（H19.10～H20.9）

	系統数(夜行を含む)	年間乗車人員
市内運行路線	47 系統	510,287 人
市外運行路線	20 系統	391,108 人

※ H20 益田市調査

#### ◆ 中核駅の状況

施設名	一日平均乗車人員
JR益田駅	734 人/日

※ H21 島根県鉄道整備連絡調整協議会資料

### (5) 衛生

#### ◆ 一般廃棄物処理実績（益田地区広域クリーンセンター：平成20年度実績）

全体処理量	益田市	津和野町	吉賀町
16,793,330 kg	13,927,600 kg	1,838,470 kg	1,027,260 kg

※ H21 益田地区広域市町村圏事務組合資料

## (6) その他の社会施設

### ◆ 社会施設の状況

施設分類	施設名	施設分類	施設名
専修学校	石見高等看護学院	市民会館・市民ホール	いわみ芸術劇場
美術館	石見美術館		市民学習センター
博物館・資料館	歴史民俗資料館		ふれあいホールみと
	雪舟の郷記念館		匹見タウンホール
	秦記念館		益田農林会館
図書館	市立図書館		益田労働会館
	市立美都図書館	運動施設	県立サッカー場
公民館・集会所	勤労青少年ホーム ほか		益田運動公園 ほか 11 施設

※ H21 益田市調査

## 2. 想定する連携項目

### (1) 生活機能の強化に関すること

#### ①医療

住民が安心して地域で暮らせる最低限の社会条件整備のため、医療連携による地域医療体制の確立・維持に取り組みます。

#### ②福祉

圏域内における子育て、高齢者等の福祉施設の情報提供や連携を図り、利用者の利用しやすい環境整備を推進します。

#### ③教育

ふるさとを愛する心を育むとともに、児童・生徒の学力向上を図るため、圏域が一体となって教育環境の整備を推進します。

#### ④産業振興

特色ある食品資源や豊富な林産資源の有効活用を図るため、高津川を基軸に据え、清流とつながる産業間、企業間による農商工連携の取組みを推進します。

#### ⑤土地利用

圏域共通の財産である高津川や林産資源など豊かな地域資源を次世代に受け継ぐため、環境を守り育てる取組みを推進します。

#### ⑥その他

消防防災体制や廃棄物処理対策など、住民に密接した行政サービスの充実・向上に連携して取り組みます。

### (2) 結びつきやネットワークの強化に関すること

#### ①地域公共交通

住民の円滑な移動を確保するため、コミュニティバス運行体制を整備・充実を図るとともに、公共交通ネットワークの整備に取り組みます。

② ICTインフラ整備

域内の地理的、距離的な制約を補い、地域間格差の是正を図るため、地域情報化の取り組みを推進します。

③交通インフラの整備

広域救急医療体制の確立を図るとともに、観光・地域産業の振興に資するため、道路をはじめとする交通インフラの整備を進めます。

④地産地消の推進

食育・ふるさと教育の実践、地元産品の消費拡大による自立した経済圏の確立を図るため、地産地消の取り組みを推進します。

⑤交流・移住促進

農商工連携によって「流域文化」の醸成を図り、「ひと・もの」の圏域内外の交流の拡大を図るとともに、UIターン移住促進の取り組みを推進します。

⑥社会資本の連携活用

空港などの社会基盤施設や域内の文化施設、観光施設のネットワーク化を進め、地域資源の有効的な連携活用を推進します。

(3) 圏域マネジメント能力の強化に関すること

①人材の育成

地域の担い手や産業人材の確保を図るため、高校生の地元定着を促進するとともに、産学民官・産業間の連携による人材の育成に取り組みます。

②域外からの行政・民間人材の確保

有能な人材や地域を離れた若者のUIターンを受入れるための体制の整備を推進します。

③圏域内市町の人材交流

職員の能力向、圏域全体の事業運営の円滑化及び職員間の一体感の醸成を図るため、職員等の交流を推進します。

3. 中心市である益田市への通勤通学割合が10%以上ある町

町名	常住する就業者数 及び通学者数 (A)	本市への通勤・通 学者数 (B)	通勤通学割合 (B/A)
津和野町	3,798 人	728 人	19.2 %

平成17年国勢調査（自宅従業者を除く）

4. 上記3のほか、中心市である益田市と定住自立圏構想を推進するため連携の意思を有する町の名称

吉賀町
-----